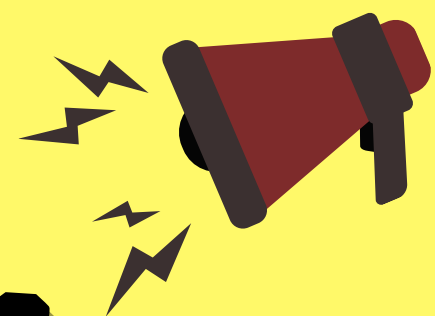
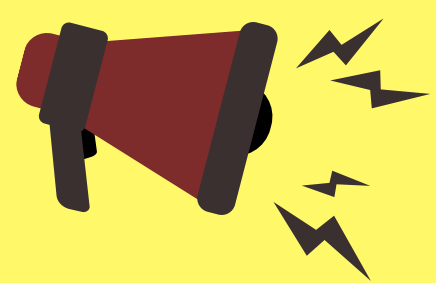




# 台灣語 だよ!

## 全員集合



Tsò-hué lâi òh Tâi-uân-uē

### 做伙來學台灣話

## 日本語で学ぶ速修台灣語



教授使用言語：日本語

講師：吉田真悟先生（一橋大学大学院言語社会研究科）

場所：台湾師範大学 文学院誠105教室

日時：2024.11.23 (六) 9:00-17:00

お申込み



主辦單位



國立臺灣師範大學  
高等教育深耕計畫



國立臺灣師範大學  
國際台灣學研究中心



國立臺灣師範大學  
臺灣語文學系

## 【講義概要】日本語

本授業は、日本語による台湾語の集中講義である（授業は日本語で行うため、主に台湾在住の日本人を対象としているが、日本語が理解できれば国籍は問わない）。台湾語は台湾において所謂「公用語」ではないため、外国人がそれを学ぶことには様々な困難が付き纏うが、同時にことばと社会のありように関して（特に日本人は）普段意識することの少ない多様な気づきを与えてくれる経験でもある。本授業は講師自身の経験も踏まえつつ、外国人が実際に台湾で台湾語を使う場面とその意義について、受講者と共に考える所から始めたい。次に学習の基礎となる発音と文字（台羅：台湾語ローマ字）を学ぶが、時間が限られているため重要なポイントに絞って効率的に進める。その後は実際に台湾語を使う実践・演習に移り、会話練習では台湾人学生にも加わってもらう予定である。また、従来の台湾語教育では台湾人向け、外国人向けを問わず会話（話し言葉）のみが重視される傾向にあったが、本授業では文学作品の読解や歌謡曲の歌唱も取り入れて、台湾語の多様な側面を理解・体験できるようにしたい。

## 【課程簡介】台語

本課程是以日語進行ê台語集中課程（課程以日語授課，主要ê對象是以蹠tī台灣ê日本人，毋過若是會曉日語，無論是佗一國ê人攏會當參加）。因為台灣話tī台灣毋是所謂ê「通用語」，外國人若欲學，總是會擔著種種ê困難。猶閣，也會予咱（尤其是日本人）經驗著平常時仔較袂注意著ê、關係語言kah社會ê濟濟款狀況。Ti這門課ê起頭，咱ê講師也會就伊本身擔著ê經驗來kah修課ê人相佻(sann-kap)思考、學習，外國人tī台灣實際欲用台灣話ê時會拄著ê情形，kah tī彼內面ê意義。閣來，咱tī課程中會學著台灣話ê基本發音kah文字（台羅：台語羅馬字），因為時間ê限制，咱會用較效率ê方式，就重點來學習。接繼，咱mā會實際來練習看欲按怎使用台語，tī練習對話ê時，咱會有台灣學生kah咱做伙講看覓。過去tī台灣話ê課程，毋管是教台灣人抑是外國人ê課，較濟是干焦對重tī講話（口語），tī咱ê課程，也會用文學作品做例來解讀，抑是用歌曲來予逐家唱看覓，thang予逐家會當來了解、體驗台灣話ê濟濟面向。

## 【課程簡介】華語

本課程是以日語進行的台語集中課程（課程以日語授課，主要授課對象是以生活在台灣的日本人為主，如若通曉日語，無論是哪一國人都歡迎參加）。因為台語在台灣並非所謂的「通用語」，外國人若想學習，總會遇到重重挑戰。再者，也能讓大家（尤其是日本人）意識到平時在台灣比較容易忽略的、攸關語言和社會的種種狀況。在這門課的開頭，講師會就自身經驗來和修課學員一同思考、學習，外國人在台灣實際使用台語時會遇到的情形，以及其當中的意涵。接下來，學員在課程中會習得台語的基本發音以及文字（台羅：台語羅馬字）；由於授課時間有限，將會採用較有效率的方式，就重點部分來教授。最後，學員將會實際來練習如何使用台語，在對話練習的過程中，將會安排台灣學生與學員們一起練習。在以往開授的台語課程中，無論是教授台灣人或是外國人的課程，大多僅止於針對口說的練習及應用，於本次的課程規劃中，也會採用文學作品作為授課文本，或是以歌曲來讓學員練唱，進而讓大家來了解、體驗台語的諸多面向。

# プログラム

| 時間              | 内容                                                                          |
|-----------------|-----------------------------------------------------------------------------|
| 9 : 00-9 : 30   | 受付（報到）                                                                      |
| 9 : 30-9 : 45   | 開会式（開幕式）<br>台師大台文系林巾力教授（總計畫主持人）<br>台師大台文系莊佳穎副教授兼系主任<br>台師大台文系呂美親副教授（子計畫主持人） |
| 9 : 45-10 : 10  | 導入：外国人の台湾語体験<br>それぞれが台湾語に触れた経験、<br>受講動機等を話し合う                               |
| 10 : 10-10 : 50 | 文字と発音<br>台羅を学びながら発音練習                                                       |
| 10 : 50-11 : 00 | 休憩時間                                                                        |
| 11 : 00-11 : 50 | 文字と発音<br>台羅を学びながら発音練習                                                       |
| 11 : 55-12 : 10 | 書き取り練習<br>発音を聞いて台羅で書き取る                                                     |
| 12 : 10-13 : 10 | お昼・休憩時間                                                                     |

# プログラム

| 時間          | 内容                            |
|-------------|-------------------------------|
| 13：10-14：00 | 台湾語会話<br>会話文を通して日常で使える表現を学ぶ   |
| 14：00-14：20 | 会話練習<br>台湾の若者と台湾語で話してみる       |
| 14：20-14：30 | 休憩時間                          |
| 14：30-15：30 | 台湾語読解演習<br>辞書を使いながら文学作品を読んでみる |
| 15：30-15：40 | 休憩時間                          |
| 15：40-16：40 | 台湾語を歌う<br>歌謡曲の歌詞を読み、実際に歌ってみる  |
| 16：40-16：50 | 閉会式（閉幕式）                      |